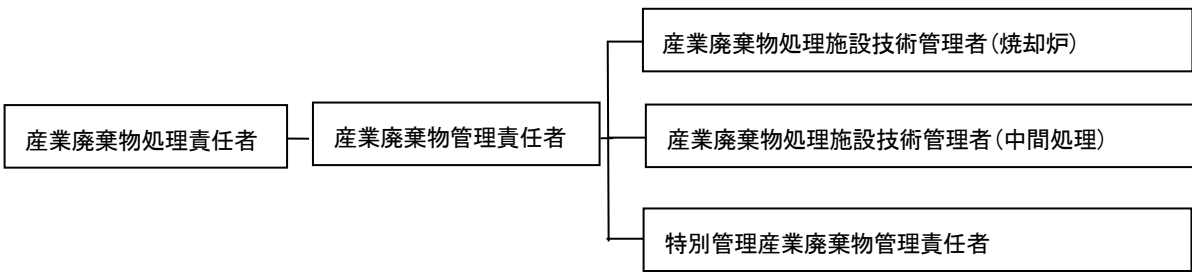


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 月 日	
和歌山市長 様	
提出者 〒640-8580 住 所 和歌山市湊1334番地 氏 名 花王株式会社 和歌山工場 工場長 山口 浩明 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 073-423-8151	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	花王株式会社 和歌山工場
事業場の所在地	和歌山県和歌山市湊1334番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	油脂加工品・合成洗剤・界面活性剤・塗料製造業 有機化学工業製品製造業、無機化学工業製品製造業
② 事業の規模	1,551,100百万円(令和4年12月連結売上)
③ 従業員数	2,043名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[発生源] --> B[有価物] A --> C[廃棄物] C --> D[自社再生利用] C --> E[自社中間処理] C --> F[外部処理委託] F --> G[最終埋め立て] F --> H[外部再資源化] F --> I[外部サーマルリサイクル] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙 処理計画共通別紙のとおり		
	排出量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙 処理計画共通別紙のとおり		
	排出量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各職場に、分別容器（可燃物、不燃物、金属類、プラスチック類、ガラス・陶磁器）を設置し、発生毎に各容器に分別回収している。また、紙類については紙の種類別回収容器（コピー用紙、ダンボール、カタログ等のカラー用紙、新聞紙）を設置して古紙回収を行い、再生業者に引き渡している。 ・廃蛍光管及び使用済みパソコンの個別回収を行い、一定量になると再生業者に引き渡している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・可燃物ゴミのリサイクルによる、焼却物削減の検討

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙 処理計画共通別紙のとおり			t
	(これまでに実施した取組)				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙 処理計画共通別紙のとおり			t
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙 処理計画共通別紙のとおり			t
(これまでに実施した取組)					
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙 処理計画共通別紙のとおり			t
(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙 処理計画共通別紙のとおり			t	t
	(これまでに実施した取組)					
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙 処理計画共通別紙のとおり			t	t
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種					
	全処理委託	別紙 処理計画共通別紙のとおり			t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 有機性汚泥等の自社焼却処理後の残渣（ばいじん、燃え殻）は、全量を処理委託している。 </div>					

② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も引き続き3Rの強化推進を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>有機性汚泥等の自社焼却処理後の残渣（ばいじん、燃え殻）は、全量を処理委託する。</p> </div>					
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が6以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。